競 技 注 意 事 項

1　競技規則について

本大会は、２０２３年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会の申し合わせ事項によって行う。

2　受付について

受付を競技場正面出入口に設ける。各校、各チーム代表は競技場入場時に受付をすること。時間帯によっては場所を移動する場合があるため、本部で確認すること。

3　招集について

（1）**招集所は第１ゲート（１００mゴール付近）とし、招集時間はトラック競技は競技開始３０～２０分前まで、フィールド競技は４０～３０分前までとする。**

（2）招集の手順

①競技者は招集完了時刻までに招集所へ集合し、点呼を受けること。

②**トラック競技と走幅跳が重なる場合には、走幅跳の競技前に、走幅跳審判に申し出て指示を受けること。２種目まとめての招集を認める。**

③招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなす。

4　競技運営について

（1）競技運営上、競技日程が多少早まったり遅れたりすることがある。

（2）本競技会は、不正スタート１回失格を適用する（TR16.7）。スタート動作における警告は２回目でその種目のみ失格とし、競技会からは除外されない。
ただし、小学生は友の会ルールに準じ、同じ競技者が２回不正スタートをした場合に失格とする。（その場合もオープン参加として走ることができる）

（3）走幅跳の試技は３回とする。競技前の跳躍練習は競技役員の指示にしたがって行うこと。

（4）アスリートビブスは愛知陸協登録のものを使用し、ユニフォームの胸・背部に確実につける。跳躍種目については、背部または胸部のみでもよい。小学生は友の会アスリートビブスをつける。

（5）一般・高校の部、中学生の部の長距離種目では以下の制限タイムを設定し、制限を超えた場合は役員の指示に従い、競技を中止すること。　1500m【男子 6’30”　女子 7’00”】　3000m【男子 13’00”　女子 14’00”】

（6）トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバーカードを招集所で受け取り、ランニングパンツの右側やや後方につけて競技を行い、**競技終了後、速やかに招集所へ返却**すること。

（7）競技中、メインスタンド（本部）前は、競技中の走幅跳出場者のみ通行することができる。

（8）グラウンドに降りられるのは競技者及び競技役員のみとし、応援、観戦はメインスタンド上で行うこと。

（9）記録の掲示は行わない。速報サイトで記録の確認をすること。

5　ウォーミングアップについて

（1）１５：４５までのトラック利用は、１・２レーンは周回（長距離）用とし、ホームストレートの４～９レーンは１００mのスタート練習用とする。

（2）競技中のバックストレートでのウォーミングアップは、競技の支障のない範囲でしてもよい。長距離の競技中は６～８レーンのみ使用してもよい。スタート時は走らない。

6　表彰について

各種目とも男女別に、小学生の部（学年別）、中学生の部、一般・高校の部のそれぞれ３位までに賞状を授与する。競技終了後にチーム代表者（個人の場合は個人）が本部に賞状を受け取りに来ること。その日のうちに取りに来ない場合、賞状を渡すことはできない。郵送もしない。

7　靴の規定について（TR5.2）

（1）日本陸上競技連盟競技規則に準じ、靴底の厚さは以下の範囲内とする。

トラック種目（ハードル種目を含み、800m 未満の種目）20mm	フィールド種目（三段跳を除く）20mm
トラック種目（障害物競争を含み、800m 以上の種目）　25mm	三段跳　25mm

（2）競技中に競技者の使用している靴が競技規則を遵守していないと審判長が疑義を抱いた場合、試技終了時に靴の提出を求め、規則に適合していなければ失格とする。

8　その他

（1）救護本部は、競技場内医務室に設置する。応急処置のみ行う。